OFFICIAL MATCH DAY PROGRAM

発行:関西学生サッカー連盟 2012年7月14日発行





Japan University Football Association

第36回 総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント 2012年7月14日(土) 準決勝



2012年度 第36回 総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント



関東1 中国2 東海3 東北1 関東4 半海津1 九州4 関西2 九州1 半海越2 関東8 関西3 関東6 関西6 四国2 東海1 関西1 東北2 関東7 九州2 東海2 関西5 半海越1 関東3 四国1 東海4 九州3 関東5 関西4 中国1 半海港2 関東2 ※何らかの理由により、決勝戦が7月16日(月・祝)に行えなかった場合、7月17日(火)に同会場、同時間で行う予定です。



UF 第36回 総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント 2012年7月12日(木) 準々決勝

阪南大学VS青山学院大学

阪南大が持ち味をいかんなく発揮し、前半で3得点の快勝。 須佐徹太郎監督は「立ち上がりは、それほど良くなかった」 と言うが、それでも高い位置で相手にプレスをかけ、速攻に 持ち込む展開で相手を押し込む。すると26分に先制点が生 まれる。ゴール正面約25メートルで得たFKを、MF9, 可 児壮隆 (3年) が直接決めた。「あの位置は自信があった」。 志願して蹴ったシュートでチームに勢いを与えた。

可児はわずか2分後にも、左からのクロスを、ゴール中央 のDF3, 二見宏志 (3年) の頭にピタリと合わせ、追加点を 演出。35分には、1トップのFW11,泉澤仁(3年)がショー トカウンターから追加点、主導権を掌握した。

守備時には陣形もコンパクトにし、スペースを与えない。 「(攻守が目まぐるしく切り替わる)速い流れのサッカーで も、ポジショニングとプレーの選択を徹底した」と須佐監督。 相手のロングボールも落ち着いて対応できたことが、大会中 の成長を物語る。

一方の青学大も、FW24, 若狭友佑(4年)、主将FW11, 武富尚紀(4年)らがカウンターからシュートを放つが、G Kの好捕に阻まれるなど、ゴールが遠い。シュート数は前半 の1本から後半は7本に増え、積極性もあがったが宮崎純-監督は「ゴールへの意識、球際の強さとスピードで優位に立 たれた。関東にはないチームで、勉強になった」。この敗戦 を、リーグでの飛躍の糧にしたい。

(読売新聞運動部 安田栄一)

阪南大 3-0

■7月12日(木) 15:30 KICK OFF 於:大阪長居第2陸上競技場

◇出場選手

青学大 阪南大 21 原田 直樹 12 若尾 直道 19 飯尾 竜太朗 2 御牧 考介 35 朴 替友 22 中村 周平 6 本多 勇喜 14 中村 祥太 3 二見 宏志 6 藪 裕史朗 5 白井 悠太 8 窪田 良(→37 田辺 翼)

12 谷本 泰基(→26 堀 滉二郎) 10 木澤 純平

9 可児 壮隆 27 荒木 大吾(→ 4 後藤 拓斗)

28 成田 恭輔(→22 工藤 光輝) 19 石沢 哲也(→24 若狭 友佑)

18 関谷 祐(→29 恵 龍太郎)

18 奥野 将平(→13 河田 篤秀) 11 武富 尚紀

◆得点(アシスト)

11 泉澤 仁

阪南大 26分 9 可児 壮隆

|阪南大 28分 3 二見 宏志(9 可児 壮隆,28 成田 恭輔) 阪南大 35分 11 泉澤 仁(18 奥野 将平)

早稲田大学VS中央大学

中央大 1 - 0

■7月12日(木) 18:00 KICK OFF 於:大阪長居第2陸上競技場

◇出場選手

早 大 中央大 1 松澤 香輝 1 岡西 宏祐 2 菅井 順平 2 今井 智基 3 山地 翔 3 木下 淑晶 4 畑尾 大翔 5 安田隆 6 三竿 雄斗 24 古賀 鯨太朗 7 六平 光成 8 近藤 貴司 7 野村 良平 10 田仲 智紀 5 島田 譲 16 細見 諒

8 田辺 圭佑(→14 澤田 崇) 11 近藤 洋史

10 富山 貴光(→19 上形 洋介) 11 奥山 慎(→19 砂川 優太郎)

9 榎本 大希(→17 秋岡 活哉) 18 皆川 佑介(→ 9 安 柄俊)

◆得点(アシスト)

早 大 76分 11 近藤 洋史

シュート数は中央大の14本に対し、早大は3本。それでも、ワ ンチャンスを逃さない集中力で上回り、勝ち上がったのは早大だっ

「相手がパスを回し、押し込まれるのは分かっている」。早大の 古賀聡監督が予期した通りの展開となり、中盤で球をつながれ、危 機が続いた。特に後半は自陣に押し込まれてシュートの雨を浴びた が、GK1,松澤香輝(2年)が横っ飛びで好セーブを連発。

何とかしのぐと、好機が訪れた。76分、カウンターから味方が 放ったシュートのこぼれ球をFW11, 近藤洋史 (2年) がペナルティー エリア内で拾い、相手と競り合いながら、ゴールへ押し込んだ。そ の後の猛攻も、松澤らが体を張って守りきり、終了の笛と同時に、 選手はピッチに崩れ落ちた。死力を尽くして白星を勝ち取り、松澤 は「タフだったけど、この勝利は大きい」。

「守備も粘って対処してくれた。これが早稲田らしい戦い」と控 えめに話す古賀監督だったが、表情には充実感が漂っていた。 央大は、決定機を逃したことで流れを手放した格好だ。MF7, 六平 光成(4年)がゴール前への好パスを連発し、J1・川崎への入団 が内定しているFW9、安柄俊がゴールに迫るが、ネットを揺らす ことは出来ず。圧倒的に中盤を支配し、ポゼッション能力の高さは 見せつけたが、白須真介監督は「これがサッカー。勝たなきゃ意味 がない」。 六平も「良い形は出来ていたけど、決めきれないのが 実力です」と肩を落とす。前回準優勝の実力校だが、4強の壁は高 かった。

(読売新聞運動部 安田栄一)

第36回 総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント 2012年7月12日(木) 準々決勝



專修大学VS中京大学

互いに持ち味を発揮しつつも、なかなかゴールマウスを割れない 展開は、見ている側には、もどかしかったかもしれないが、両チー ムともに疲労困憊の中で最後まで走り抜いた好ゲームだった。

ボールをポゼッションしながら得点機会を作り出そうとする専修 大。対する中京大はDFラインと中盤の間をコンパクトにして守り からのカウンターを狙った。前半、押し気味に試合を進めたのは専 |修大。中盤の底に位置するMF8,下田北斗(3年)が左右に散らし て両サイドから崩そうとするが、中京大もゴール前でブロックを作 るなど体を張って決定機にはさせない。

後半に入ると、中京大が中盤の圧力を増してショートカウンター を見せたり、セットプレーからシュートを放ったりと、前半よりも 攻勢に出る。一方、専修大も78分にMF7,長澤和輝(3年)のシュー トがクロスバーをたたくなど惜しい攻撃を見せた。結局、互いに無 得点で延長戦に突入。しかし、どちらもゴールを奪えず、PK戦決 着になった。

PK戦は中京大の3人目が外したのに対し、専修大は3人目まで 連続で成功。4人目が互いに失敗して迎えた中京大の5人目。シュー トは強烈だったが、専修大のGK1,福島春樹(1年)が見事なセー ブで勝利をつかみ取った。専修大の源平貴久監督は「PK戦は運。 うちとしては、前半に点が取れなかったことで、こういう展開になっ てしまったことが反省」と、試合を振り返った。

両チームは昨年の全日本大学選手権準決勝でも顔を合わせていた。 その試合に勝った専修大は決勝でも勝利し、大学日本一の称号を手 にした。今回、雪辱を期した中京大は相手の攻撃を封じ込めたもの の、結果として、またしても涙を飲む形となった。

(読売新聞大阪運動部 藤田真則)

専修大 0 - 0中京大 PK 3 - 2

■7月12日(木) 15:30 KICK OFF 於: J-GREEN堺・メインフィールド

◇出場選手

専修大 中京大 30 川上 悠一郎 1 福島 春樹 2 須崎 恭平 2 北爪 健吾 30 冨田 将司 3 新里 亮 29 本名 正太朗 12 長田 海人

23 萩間 大樹 19 野添 陽太

26 中島 健太(→14 星野 有亮) 22 藤橋 優樹(→ 6 青木 捷)

8 下田 北斗 8 福ヶ迫 知秀 7 長澤 和輝 10 佐藤 和弘

10 仲川 輝人 16 石川 誠也(→21 南部 健造)

19 大西 佑亮(→22 山川 翔也) 7 清水 貴文(→ 4 畑 直樹)

駒澤大学VS筑波大学

9 中村 亮太 11 牧内 慶太(→18 東 大樹)

(→13 池田 裕樹)

駒澤大 2-1

■7月12日(木) 18:30 KICK OFF 於:J-GREEN堺・メインフィールド

◇出場選手 駒澤大 筑波大 1 大石 健太 30 岩脇 力哉 21 早川 史哉 16 大木 暁 4 三澤 祥馬 14 車屋 紳太郎 2 友廣 壮希 5 山越 享太郎 3 田中 雄一 3 谷口 彰悟(→ 2 松田 貫) 18 中野 嘉大(→15 曽山 慶太) 6 若山 瞭太 15 水野 裕之 10 玉城 峻吾 17 平野 篤志(→11 小牧 成亘) 8 上村 岬 30 溝口 祐真(→10 湯澤 洋介) 9 赤崎 秀平

28 菊池 将太(→ 9 山本 大貴) 7 曽我 敬紀(→ 6 不老 祐介)

◆得点(アシスト)

筑波大 26分 9 赤崎 秀平(8 上村 岬)

8 碓井 鉄平(→ 5 宮城 雅史) 11 瀬沼 優司

駒澤大 72分 8 碓井 鉄平

駒澤大 74分 10 湯澤 洋介(11 小牧 成亘)

前後半で大きく展開が変わる一戦だった。

先に主導権を握ったのは筑波大。高い個人技とパスワークでボー ルを支配する。26分には、自陣からのロングパスに反応したF W9、赤崎秀平(3年)がGKをかわして先制ゴール。その後も攻 撃の手を緩めず、前半だけで11本のシュートを浴びせた。だが、 奪えたのは1点だけ。この結果が後に勝負を左右する。

前半のシュートがゼロに終わった駒澤大だったが、秋田浩一監 督には狙いがあった。1、2回戦でフル出場した両サイドのアタッ カー、MF10、湯澤洋介(4年)、MF11、小牧成亘(2年)を 前半は温存し、後半に勝負をかける。「0―1は想定内だった。 後半、相手の運動量が落ちたところでフレッシュな選手で崩す」 と指揮官は話したが、その言葉が現実となる。

後半の立ち上がりは、まだ筑波大のペース。しかし、ゴールを 奪えない焦りと疲労からか、次第に動きが鈍くなる。70分には、 ゲームキャプテンを務めていたFW7, 曽我敬紀(4年)が負傷交 代。流れは駒澤大に傾き、迎えた72分、駒澤大の司令塔、MF8、 碓井鉄平(3年)がペナルティーエリア内で倒されてPKを獲得。 これをきっちりと決めて追いつくと、2分後には、後半から入っ た湯澤が見事なシュートをゴール右隅にたたき込み、勝ち越した。 2年前に総理大臣杯で駒澤大が優勝した時にも決勝で勝ち越しゴー ルを決めた湯澤は「監督の期待に応えられて良かった」と喜んだ。

駒澤大は82分にFW9, 山本大貴(3年)が、この試合2度目 の警告を受けて退場になり、残り時間を筑波大に押し込まれたが、 最後は逃げ切った。今季は関東リーグ2部に甘んじている駒澤大 だが、総理大臣杯では勝負強さを見せている。秋田監督は「筑波 大に個人で劣る分、組織で守り、1人1人がハードワークをした」 と勝因を分析した。

(読売新聞大阪運動部 藤田真則)

最終日には決勝戦の前に"関西ステップアップリーグ"を開催!

関西ステップアップリーグとは・・・

関西Jクラブと関西学生選抜とのリーグ戦を行うことにより、関西地域の次世代を担う U-23年代の強化・育成を図ることを最大の目的とするリーグ戦! 今年で3年目を迎えました。

7月16日の決勝戦前の15時から関西学生選抜AB戦を実施。 ぜひ総理大臣杯決勝と合わせてご注目ください。

◆7月16日(月・祝) 15:00 Kick off @大阪長居スタジアム 関西学生選抜Aチーム vs 関西学生選抜Bチーム *ステップアップリーグも有料開催。総理大臣杯観戦チケットが必要です!

≪大会概要≫

■主催:関西サッカー協会

■主管:関西学生サッカー連盟、(株)京都パープルサンガ、(株)ガンバ大阪、大阪サッカークラブ(株)、 (株)クリムゾンフットボールクラブ

■参加チーム:京都サンガF.C.、ガンバ大阪、セレッソ大阪、ヴィッセル神戸、関西学生選抜2チームの6チーム

■大会方式:2回戦総当りリーグ戦

関西ステップアップリーグ2012 星取表

消化試 得失 セレッソ大阪 ガンバ大阪 京都サンガF.C. ヴィッセル神戸 膀 チーム名 負分 点差 点 点 1 (0 - 0) 1 2 (1-0) 0 3 セレッソ大阪 ガンバ大阪 4 0 (0 - 0) 1 4 (2 - 0) 1 2 (0 - 1) 1 0 10 7 2 京都サンガF.C. 2 (2 - 0) 1 1 (0-0) 0 4 (2-1) 4 3 0 1 11 7 4 10 ヴィッセル神戸 (0 - 0) 1関西学生選抜A 0 2 0 5 -2 5 1 (1-0) 2 4 (1-0) 5 0 2 -2 0 関西学生選抜B 0(0-1)2

※上段がホーム・下段がアウェイの結果。()内は前半の結果。

総理大臣杯企画!



7月14日(土)キンチョウスタジアムで行われる準決勝では各試合で勝敗予想を実施!!勝利チームを予想して投票して下さい。

見事正解した人の中から抽選でマンダム商品をプレゼント。 是非勝敗予想にチャレンジして下さい。

7月16日(月・祝)は大プレゼント抽選会を実施!

決勝戦にご来場頂いた方の中から・・・

8月4日のセレッソ大阪対 コンサドーレ札幌戦観戦ペアチケットを25組50名様にプレゼントいたします! みなさまぜひ、最終日は大阪長居スタジアムにてご観戦ください。



準決勝 見どころ

■7月14日(土)於:キンチョウスタジアム

第1試合 15:30 KICK OFF

専修大学VS駒澤大学

昨年の全日本大学選手権で優勝した専修大と、一昨年の総理大臣杯を制した駒澤大の対戦は、興味深い試合になり そうだ。

人もボールも動きながらポゼッションしてゴールを目指す専修大。準々決勝の中京大戦は無得点に終わったが、専修大の源平貴久監督は「次こそはいい内容の試合を見せたい」と意気込む。対する駒澤大は準々決勝で専修大と同じようなパスサッカーをする筑波大に競り勝った。組織的な守備でゴールを許さない一方、スピードのある両サイドを生かした攻撃で得点を奪いに行くだろう。

初出場の専修大が一気に決勝進出を決めるのか、それとも夏に強い駒澤大が本領を発揮するのか。両チームの司令 塔、専修大MF7,長澤和輝 (3年)、駒澤大MF8,碓井鉄平 (3年)のプレーも試合の行方を左右しそうだ。

(読売新聞大阪運動部 藤田真則)

第2試合 18:00 KICK OFF

早稲田大学VS阪南大学

2005年以来の4強入りを果たした早大と、2008年以来の阪南大。チームの持ち味が違うだけに、見応えがありそうだ。

早大は、準決勝の中央大戦で見せたように、堅守速攻で活路を見いだしたい。GK1, 松澤香輝(2年)、主将DF4, 畑尾大翔(4年)を中心にした守備陣は安定感がある。奪ってからテンポ良くFW11, 近藤洋史(2年)らにつなぎ、「スピードを意識して攻めたい」と古賀聡監督は話す。

阪南大はじっくりボールを回し、スペースを見つけて攻め込むことが出来るか。MF9, 可児壮隆(3年)やMF12, 谷本泰基(4年)らでつなぎ、FW11, 泉澤仁(3年)の個人技とスピードを生かせば、チャンスは見えてくる。「今は相手を崩せる自信がある」と泉澤も自信たっぷり。堅守の早大に対し、シュート精度を上げられるかどうかが、勝敗を分けることになる。

(読売新聞運動部 安田栄一)



大会記念グッズ発売中! ご観戦の記念に!!





チームストラップのほか、 イヤホンジャック付も販売。 スマートフォンに対応!

ご購入は・・・総理大臣杯各試合会場と (有)CUBにて



*関西学生サッカー連盟HPから

大会プログラム好評発売中!! ~選手情報が満載 1冊1,000円~

前売りチケット発売中!! 最終日は有料開催。ゲートにて絶賛発売中!! ~ 最終日の観測はバックスタンドのみとなりますので予めご了承ください。ステップアップリーグも有料です。~